

日本遺産 呉市 ～日本近代化の躍動を体感できるまち～



JAPAN HERITAGE

●日本遺産と水道施設

1 呉市の水道のはじまり

呉市はもともと半農半漁の寒村でしたが、明治 22(1889)年に呉鎮守府が開庁されたことにより、海軍の関連施設が次々建設され、日本一の海軍工廠を擁するまちとして発展してきました。

呉市の水道は、開庁翌年の明治 23(1890)年3月に創設された「呉鎮守府水道」を草分けとし、近代水道としては、横浜市、函館市に次いで古い歴史を有しています。

これは、当時の生活用水は井戸水に依存していたことから、船舶給水や伝染病対策として、その整備が急がれていたためです。

しかし、この「呉鎮守府水道」は海軍専用で、二河水源地取入口で取水した水を、約4km離れた宮原浄水場で処理し、海軍施設に給水するもので、市民は直接恩恵を受けるものではありませんでした。

その後、海軍の発展、拡張に合わせて、水需要は増加の一途をたどり、水不足となったことから、海軍は大正7(1918)年に本庄水源地を築造しました。

地形上、水源に恵まれない呉市では、市民に給水するため海軍に本庄水源地からの分水を幾度となく請願しました。

海軍では、軍港都市「呉市」の衛生状態は直ちに海軍の士気にも影響するとし、大正 2(1913)年3月に呉鎮守府司令長官からの余水分与承諾の指令がありました。

これにより呉市は、大正7(1918)年4月に本庄水源地からの分水を水源として、待望の市民給水を開始しました。なお、本市では、平成 30(2018)年に市民給水 100 周年を迎えます。

2 本庄水源地堰堤水道施設（堰堤、丸井戸、第一量水井、階段）

○所在地 呉市焼山北3丁目

○完成 大正7(1918)年2月

○概要 海軍施設拡張に伴う水不足に対処するため、二河川を遮って堰堤を設け貯水池を築造したもので、当時は東洋一といわれるほど大規模なものでした。(総貯水量 196 万立方メートル)

本庄水源地堰堤水道施設は、花崗岩を用いた豪華で美しい外観で、高い施工精度を持つ堰堤、丸井戸、第一量水井、階段の関連施設で構成されています。

これらは、当時の海軍土木技術の粋を集めたものであり、現在も水道施設として利用している点で高い評価を受け、平成 11(1999)年5月に「国の重要文化財」に指定されました。(桜の開花時期のみ一般開放しています。)

○構造等

・堰堤:重力式コンクリート造(堤頂部の長さ 97 メートル・幅 3.64 メートル・堤高 25 メートル)

・丸井戸:石造りで直径 9.9 メートル

丸井戸から約 100 メートル上流で取水した二河川の水を一時的に貯める施設

・第一量水井:石造りで長さ 14.8 メートル・幅 5.5 メートル

取水塔及び丸井戸から水を集め量を量り送り出す施設

・階段:石造りで長さ 36.5 メートル・幅員 3.6 メートル、階段は 96 段

お問い合わせ先：経営企画課 0823-26-1604
本庄水源地 0823-33-0021

～近代水道と先端都市～

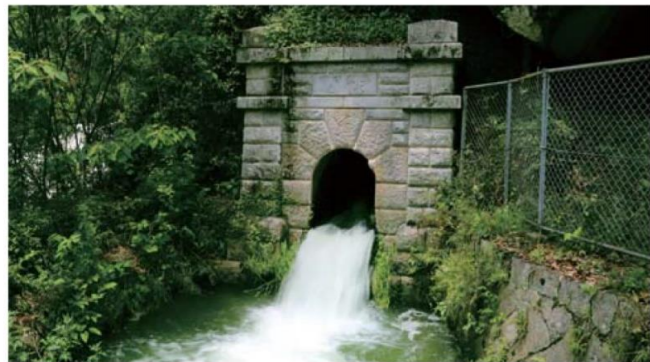
今なおそよぐ^{けいふう}恵風。

鎮守府の設置が決まると、呉の地は瞬く間に変貌を遂げた。
半農半漁の寒村から、活気みなぎる先端都市へ。
なかでも水道設備は、鎮守府の生命線としていち早く整備された。
工業用水に、艦艇への給水に、実現された安定供給。道路や鉄道、
市街地整備も急速に進み、都市機能の充実が図られた。
住まう人々は、その恩恵に預かりながら時の鎮守府を支え、
激動の日々を共に駆け抜けた。



宮原浄水場低区配水池(国登録有形文化財)

明治23(1890)年に築造されたこの配水池の上屋の側壁は赤れんがで造られています。日本の近代水道初期の様子を知る上での貴重な施設として国登録有形文化財に登録されています。
※浄水場内にあるため一般開放していませんが、浄水場外から展望できます。



二河水源地取入口(国登録有形文化財)

明治22(1889)年の呉鎮守府開庁に合わせて竣工したこの取入口は、近代水道としては、横浜、函館に次ぐ歴史を誇り、我が国初期の貴重な水道施設の一つとして、国登録有形文化財に登録されています。石造りの堂々とした姿が醸し出す品格からは、当時の技術の高さがうかがわれます。



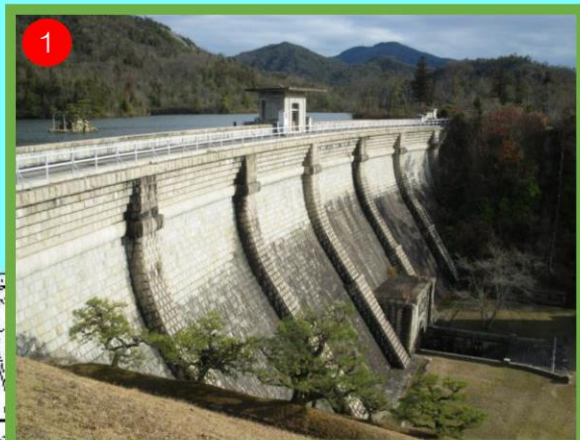
本庄水源地堰堤水道施設(国重要文化財)

呉鎮守府水道の貯水池として大正7(1918)年に完成した堰堤は、長さ97m、高さ25m、総貯水量196万mlの重力式コンクリート造で、完成当時は東洋一の規模を誇りました。歴史的・芸術的な価値の高いこの美しい堰堤をはじめ、丸井戸、階段、第一量水井の4施設は、平成11(1999)年に現役の水道施設としては全国初の国重要文化財に指定されました。

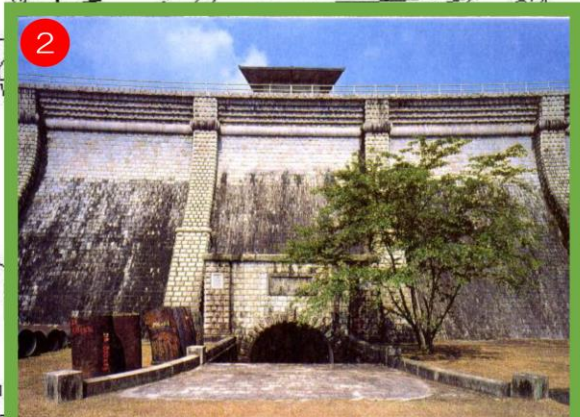
※現在も稼働中の水道施設のため普段は見学できませんが、桜の開花時期には一般開放されます。

旧呉鎮守府司令長官官舎洋館食堂天井の金唐紙

～本庄水源地 見学ポイント～



堰堤（広場からの眺め）



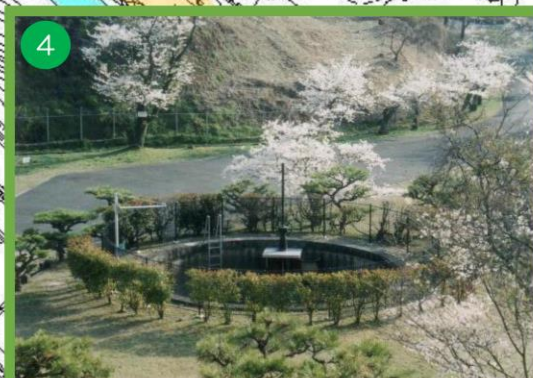
堰堤（下からの眺め）



カスケード（人工の滝）



階段（下からの眺め）



丸井戸



第一量水井